

安全性と抗菌力に すぐれた銀の不思議

私たちが普段使用する抗菌剤や防臭剤に、広く使用されている「銀」をよく使うものだからこそ、どれだけ菌やウイルスを抑制できるのか、どれだけ安全なのかが気になります。

ナノシルバー応用研究会の会長である錦織先生にお聞きしました。

メディカル
インタビュー

薬学博士

錦織浩治
先生

人類が何千年も 銀を使い続ける理由

銀に菌やウイルスへの抑制効果があることは、何千年も前から言われてきたことです。このため銀は、食器や飲料水の保存に使用されたりしていました。現在でも銀は抗菌剤として広く使用されています。

銀が菌やウイルスを抑制するメカニズムは、菌やウイルスの細胞に入り込んで攻撃をしていると考えられています。それじゃあ人体に入ったときに、人間の細胞まで攻撃してしまうのではないか、体に害があるのではないかと心配する人もいます。

しかし、銀はよほどの高濃度でないと、人間や、進化した細胞を持つ生物には攻撃ができません。一方で、菌やウイルスに対しては、銀は濃度が低くても攻撃ができます。銀の構造がとて単純なので、同じように単純な構造の菌やウイルスには低い濃度でも攻撃できるでしょう。しかし複雑な構造になってしまつと、低い濃度では対応できないのだと思います。

市販されている銀を使った抗菌剤の銀の濃度は、25ppm以下という数値です。これは菌やウイルスを抑制するには十分な濃度なんです。たとえば、食中毒を引き起こすO157やサルモネラ菌は、5ppmで抑制されます。鳥インフルエンザウイルスだと、20から25ppmで99.999%抑制されます。



銀の安全性は その歴史が証明しています。

また、銀はもともとミネラルとして体の中に存在していますし、何よりも何千年も使ってきたという歴史が、毒性の低さを証明しているといえます。

また、抗菌物質は使用していくうちに、菌が耐性を身につけてしまつて、効かなくなることがあります。けれども銀にはそんなことはないんです。

つまり、銀には大きな利点があるわけですね。ひとつは、広い範囲のどんな菌も抑制できるということです。もうひとつは、菌が耐性を身につけられないということです。

どんな菌にも銀は対応

それぞれの菌を抑制するものと言え、抗菌物質がありますね。けれどもどんな菌にも効く抗菌物質はないんです。この菌にはよく効くけれども、あの菌には効かない、というふうに、抗菌物質は効く範囲が限られているんですね。これをスペクトラムといいます。しかし、銀にはスペクトラムがないんです。

ほかの金属にはない 銀だけの不思議

では同じ金属で、銀のように抗菌力を持っていて、人体にもほとんど害がないものがあるかというと、不

p i c k u p

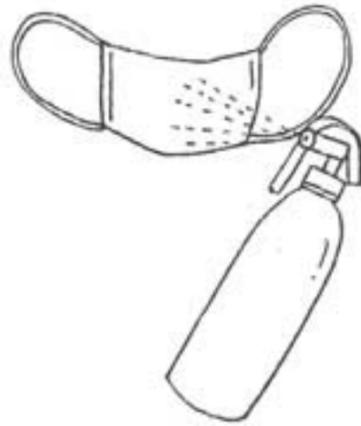
感染して
からでは
遅い!

錦織先生がおすすめる 銀でインフルエンザ予防術!

高い抗菌・抗ウイルス力を持つ銀はインフルエンザ対策にもおすすめ!
でもどうやって使えば効果的なの? 錦織先生に伺いました!

マスクに銀をシュシュッ!

ウイルスはとても小さく、通常のマスクでは隙間からでも入りこんでしまいます。そこでいつものマスクに銀を吹きかけるだけで、ウイルスもなかなか入り込めません。何層かのマスクで、しかも密着性のあるものだと、さらにウイルスの侵入を防げます!



空気清浄機やエアコンの フィルターにシュシュッ!

空気中に銀を散布して一安心でもそれも束の間、密閉されていない空間ではやがてウイルスが入り込んでしまいます。そこで一工夫! 清掃したあとの空気清浄機やエアコンのフィルターに銀を吹きかければ、ウイルスが空中に漂うのを抑制できます。



うがい・手洗いにも銀!

うがいと手洗いはインフルエンザ対策の基本。うがいと手洗いをしたあとに銀をプラスすればさらに効果もアップ! 帰宅時の家族の習慣に、銀をプラスしましょう。



インフルエンザ対策に 銀を

このように、銀は人体に害がなく、しかもさまざまな菌やウイルスに対する抑制効果があるので、日常生活の抗菌・抗ウイルス剤として、安心して使うことができます。このため銀は、応用製品として保存容器やま

まず金の場合、金は人間に害はありません。かといって、銀のようにすぐれた抗菌効果はないんですね。じゃあ銅はどうかというと、銅には抗菌効果があると言われます。しかし銅は体内に多量に蓄積すると、人間に対しても有害なんです。菌を抑制する金属もたしかにあることはあります。しかし、人間に対して安心で、菌には広く抑制効果があるというのは、銀だけなのです。

インフルエンザ対策にも 銀活用の可能性。

な板などの家庭用品から、医療機関まで広く使われています。最近、新型インフルエンザが話題になっていますが、その予防策として銀を用いる研究がすすめられています。インフルエンザウイルスは空中感染ですから、空中に銀を散布すれば、それだけでウイルスを抑制することができます。けれども、空中に銀を散布しても、密閉された空間でなければ、またすぐにウイルスは入ってきてしまいますよね。ですから上手に活用していくことが大切です。たとえばマスクの場合、ウイルスは非常に小さいものですから、通常のマスクでは素通りしていつてしまいます。できれば多層式マスクで、しかも密着性のあるものに、銀を散布す

ることで、ウイルスの侵入をかなり防げるはず。これからの季節、銀を上手に活用してインフルエンザの大流行に備えましょう。



にしこおり・こうじ profile

薬学博士。ナノシルバー応用研究会会長。山之内製薬、キリンビールなどの研究所を経て、2004年(株)ウィーブを設立。著書に『人類を救う・バイオ革命』(1998年、グローバルネット)、『ガンに克つ免疫賦活健康食品-D-12の目覚ましい併用効果』(2004年、ウィーブ)がある。